

総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 令和元年10月24日(木) 開会 13時30分
閉会 14時39分
2. 場 所 第1委員会室
3. 付議事件 閉会中の継続調査事項
「吾妻山公園の活性化について」
①樹木の伐採について
②歩道の拡幅について
③車両乗り入れについて
4. 出席者 二宮委員長、坂本副委員長、善波委員、羽根委員、杉崎委員、根岸委員、
野地議長
- 執行者側 都市部長、都市整備課長、公園緑地班長
- 傍聴議員 2名
一般傍聴者 0名
議会事務局 3名 局長、課長、主事
5. 経 過

吾妻山公園の活性化について

委員長 執行者にも参加いただき、あらかじめ3点の質問を渡している。それについてまず説明をいただくが、たくさんの質問が出る場合もあるので、おひとり3回までの質問とする。それが終わったら再質問という流れでいく。継続調査事項である吾妻山公園の活性化について①樹木の伐採について、②歩道の拡幅について、③車両乗り入れについて、本日執行者より説明をしていただく。

都市整備課長 吾妻山公園の活性化についてということで3点ほど議題があるが、順に説明する。お手元の資料だがA3の図面とあわせてみていただきたい。①樹木の伐採だが、こちらについては図面①から④を丸く囲んだ。こちらについて公園の管理上の立場という観点をふまえて、おおむね事業期間を5か年ほど設けた上で、園路の通行の安全性、老木、腐食している樹木などの伐採をした中で陽がさすような形でできるのではないかとということで、①-1 中里口周辺、しばらく入り込んで①-2 というところで芝桜園周辺の高木、またしばらくして直線の林というか①-3 の周辺の樹木の伐採、①-4 というところで役場口から上がっていく途中で、つつじ園の南側周辺のところも剪定なり、伐採することにより相模湾が望めるのではなかろうかということで樹木の伐採をしていけるのではないかと。②③については同時に説明させていただく。

吾妻山公園入り口が現在役場口、中里口、釜野口、梅沢口4か所しか進入路

がない。車両が入れるのは中里口のみ。現在は一般車両の乗り入れは不許可で運営しているが、②歩道の拡幅についてだが、図面②というところで示している。こちらは現状、切通しのような一部狭小な部分があり、たとえば管理用車両や救急車両が入るにしても若干狭さを感じているので、ここは拡幅の必要性があるのではなかろうかというところである。中里口入り口の未舗装路部分から、芝桜園の坂の上がる手前と①-3の周辺の一部、②の下だが一部未舗装の部分がある。こういったところは舗装もやっていけば、たとえば、ベビーカーを押して、登山登頂することが可能になるのではないかと考えられると思っている。車両の乗り入れ、歩道の拡幅だが、現在車両が入っている通路に関しては、約2mほど道路幅があるが、現状として車両が通れるように、一般車両が乗り入れを踏まえた中でやっていくには、非常に事業期間、事業費がかなりかかるのではないかと考えている。吾妻山公園そのものが自然の山を生かした公園でやっているのだから、当初より環境に配慮して一般車両は入場していない。たとえばイベント、今ではキッチンカーなどが入っているが、現状としては一般車両が入れる形になっていないし、一般車両の乗り入れを考えると、登った先の駐車スペースが絶対必要になっていくことが考えられる。こういった部分を確保することとなると、山頂付近は当然山なので先細りの形状になっている。台数を何台にするとかそういった部分を考えると、一般車両乗り入れに関しては非常に厳しい状況かというところである。車両の通行、乗り入れを考えた道路確保になると、先ほど申し上げたが、今の幅よりも3から4m拡幅する必要性、退避場、すれ違い場所も必要になってくるのではないかと。やはり登山、歩行者もいるので、そういった安全面、安全性を考えると、現状では非常に今厳しい状況かなというところである。

善波

今の答えの中で5か年計画ぐらいでということだが、そのへんをどういうような。今、道路の拡幅にはいろいろな問題があるということで、ただ削って広げるという問題ではなく、今の倍ぐらいのすれ違いとかあると思うが。先ほど、そちらから答えがあった5か年計画は、どのへんのところまで計画の中に入れていくのか細かく話していただきたい。

都市整備課長

今説明させていただいたのは、質問をいただいた中で我々が想定できるであろう期間である。事業期間として決定したわけではない。ただ、先ほど樹木の剪定、伐採はいつまでにできない部分もある。順次5か年の間で、未舗装部分を舗装する、狭小部分の拡幅を含めて事業費を、これから算定するようなかたちにするわけで、具体的にここをああするとか、何年度にこうするということまで、計画としては存在していない。あくまでも議題に対する考え方というか、考えられる手法としてはこうではなかろうかというところである。

善波

それはよく分かるが、それを展開していく上において、まず活性化に向けては道路の拡幅、車が通れるようにしていくのが唯一の手段かと思うが。そこからへんを具体的にどう進めていくのか行政側の考えがあれば。そのへんは無駄だということなのか、可能性としてはどういう予算を組んでいただければやれるのかと、その辺を具体的にある程度示していかないと。

都市部長

ご質問を3項目いただいたが、それぞれ正式というか、委員会としてこの3項目をやることによってどういうような活性化、効果を見込んでいるかを具体

的にいただいているので、考えられるのはこういうことだと回答させていただいている。なかなか、そういう部分を答えるにしても、こういう考えだということをお願いできないのでなかなか難しいというのが率直な話である。

坂本

今、部長が言ったように話がかみ合っていないが、行政の方はまったく現状でよいと。どんどん衰退して、マンネリ化している吾妻山というのはそのまま放置していいのかという考えがあるのか。この次は丸投げで委託するとか、直接管理しない話をあちこちから聞いている。そういうことをしていくことを含めて、今の現状のまま手入れはしていくにしても、思い切った来客数を、元に戻すとか、吾妻山の活性化を、課として部として試みようというのはどうなのか。予算に絡むこともあるかと。また2割削減と言われているし。別枠で集中していかないと、5年計画そのような特別事業として位置づけないと無理なのかと思うがいかがか。

都市整備課長

今言われたマンネリ化というところは否めないところもあるが、現状公園の管理は吾妻山公園だけでなく、二宮町の多々ある公園の一つである。公園の管理の立場から言うと、安全第一、皆さんが公園を楽しんでいただくということである。これから何か変えようという観点で言うと、現在のところは平成22年、21年か、5か年、4か年で再整備計画を立てた上で改良工事というか再整備をしているところである。まだ完成して10年はたっていないので、次は具体的な改良計画までは至っていないのが現状である。現在施設の老朽化も含めて、例えば先ほど申しました園路の部分にしても、現状では腐食しているところもあるので、順次修繕、補修とかそういったところはやっていけると思うが。集客のために、こういう新たなスポットは非常に厳しいのかなというのもある。先ほども説明の中で申し上げたが、最近車両の乗り入れと議題として上がってくる部分が多々あるが、一般車両を乗り入れるということは、山頂部分は非常に狭い区域なので何台置けば来園者の方が満足するのかということが厳しい問題だと考えられる。たとえば、ここに一般車両を入れるということになると吾妻山公園内だけでなく、旧県道から吾妻山公園入り口までの町道においても非常に狭い道路になる。その周辺の環境整備がかなり必要かと、そうすることによって車を入れると渋滞ということもあるので、車両をOKとした場合、渋滞による町民が、なかなか行き来ができないということが想定される。お客さんが来るという公園はありがたいと思っているが、今より改良していくというのは難しい課題だとしか今現状で言えない。

坂本

ちょっと勘違いしているのでは。一般車両が中里口からどんどん上がっていくというのは誰も言っていない。救急車、お年寄り、障害者が昇り降りができるようなことになると、我々の発想は、旧道までは一般車が通ったりしているのでどうなるか分からないが、あの中を専用道路として車が1、2台だけ行ったり来たりする。一般車は入れない、途中で降りる。もっと言えば、駅からラディアンを経由して、そういう特別仕立ての車が吾妻山に登っていく。今度は時間差で向こうから降りてくる人が、ラディアンと駅へ到着するというようなイメージである。中里口から入って、吾妻山の管理棟の所まで、せめて1台か2台というイメージである。それが登ったり、降りたりということができないかと言っているわけである。ガタガタみんなが入っていくというイメージは無い。この間も言われたのは、二宮に住んでいて一度は行きたいが、年をとったので登れないと。年に1回福祉の事業で吾妻山に登らせることが続いているの

か、そういうようなことがいつでも車に乗ると行けるような、もちろん有料である。そのようなイメージで中里の登り口が少し拡張できたり、歩道みたいなものができるかどうかと、これは委員の発想である。そういうことに工法選定とかまた別の話であるが、一般車が入るということをさかんに言っているので、それはもともと無く、そういうふうにしておくと、救急車が万が一の時には車を停めればよい。待避か何か場所を一箇所作っておけば、救急車が上される。担架でここからあがっていくのは大変で、消防にとっても大変で、いろいろな意味でのそういうことなのだけれど、そこらへんもだめなのか聞きたい。

都市整備課長 先ほどから一般車両という話をさせていただいたのは、車両の乗り入れということで、そういう捉え方をしてしまったことによる発言であるのでそこらへんはご了承願う。今、坂本委員からの話だが、専用のシャトルバス的なものだが、これについては平成 27 年度に観光の核作りの事業に手挙げをしようというところで検討した経過はある。中身としては、吾妻山公園の山頂まで行くルート、厳しさ、環境面を踏まえて検討した内容がある。小型の電気自動車を用いて、1 回あたり 3 台を、シャトルバス形式によって所定の位置から吾妻山公園山頂までということも考えていた。事業費で、車両を借り入れることができるか、運転手の確保だとか、そういったこともあるので 1 日 2 便で週 2 日、平日のみということも検討した。先ほども言ったようにお金のかかることで、事業費を試算したが検討で止まってしまった。今後そういったことで、たとえば事業計画で決定し、やっていくかたちになれば、27 年から数年経っているのだから、新たな手法なりそういったことも考えられるのかと。あと、路線バス的なものは町内に運行しているので、そういったものもあまり圧迫するようなやり方は非常に厳しいところもあるので、有料にて、ということもふまえて検討できるように思っている。

坂本 その今の案は、都市整備課としてそういうことを考えたということなのか。そこまでいったという実績があるなら、今度は我々議員からなんとか実現できないかということであって、かなりかみ合ってきたような雰囲気を感じたが。あとは予算の問題である。お金がかからないで、全部いいことしようとするのは無理である。お金がかかってもよく、それで元がとれなくても当たり前である。でも、その効果は金銭的な効果だけでなく、ずいぶん付加価値が付いて、当初の我々が言っている障害の方、お年寄りから大変喜んでもらえる。当然よそから来た人も乗れるわけなので、そう意味では人気に火がつくという、効果というのはお金ではない。たとえいくら月々経費がかかったとしても、それ以上の効果が期待できれば事業としては成り立つはずである。そのへんのことを、今部長が手を挙げかけたので。

都市部長 先ほど課長から観光の核づくりというのは、県が補助金を出すので各市町村手挙げして下さいということだった。補助率が 10 分の 10 で 100 パーセントだった。それに採用されれば、準備するまでの部分、翌年度の運行までは面倒を見てくれたと記憶している。2 年目以降の経常経費については町が用意しなければならないが、スタートアップの部分で車両の借り入れ、その当時まだそんなに流行っていないが車両にシールを貼るラッピング、コミバスと同じようにシールを貼り付けてあげていくということと、その時には、鐘を山頂に設置して「愛の鐘」結婚式をやるのであれば、結婚式のサポートもすると、近くに吾

妻神社があって弟橘媛で愛情が深いというような部分もあってキューピットみたいな形なので愛の聖地として展開したらどうかと、実はいい案だと他の自治体からも言われたが、神奈川県の中で優劣をつけたが、うちは採用されなかったのが結果である。現状、ハード的な部分は時間が限られているので整備しない中でも、1日2便往復する程度なら平日だったらいけるのか、菜の花ウォッチングの時期については多くの方が来るので、ちょっと運行は難しいのではないかと、そのとき考えた内容である。眠ってしまった案だが、みなさんが活性化をやった方がよいという話があれば検討するのはやぶさかではないし、何か起爆剤的なものができればよいのかと思う。

善波

今部長の話に私も携わっていたのでよく分かる。町の本当の職員の発想とかでいけば良かったが、あれは委託業者に委託してしまった。企画案をブライダルの委託業者に委託してしまったのがミスである。本来は町の携わっている12月15日行う商工会の婚活ツアーを今募集しているが、交通手段をもって上へ上げるのか。どういう計画をしているのか。歩いて上がるのか。

都市整備課長

我々は車両で登るとは聞いていない。皆さん徒歩であがられる。事務局サイドで資機材などは人力では非常に難しいところもあるので、車両を一部使うこともあるが、参加者は歩きかと思われる。

善波

その辺でいろいろ問題があるが、吾妻山結婚式の話もそうだが、あの時いろいろ折衝したときに、下で着替えて、結婚式のスタイルにして上へ上がるのかと。上で着替えられないのかと、いろいろな問題が出た。そういうのを真剣に取り組んで話をしないとなかなかこの話はまとまらない。結婚式で衣装を着た人に歩いて上がれというのは可哀想な話である。たとえば上の休憩室のある管理棟のあるところで着替えができるとか。行政がそういうところもしていかないと、なかなか難しいと思う。単に結婚式をやりたいと言っても。そのへんもやるんだという気持ちになって、いろいろ企画を練っていかないと。業者に頼むと営利目的なので、こうにしてやっていくといくらだと、莫大なお金になる。補助を取るの難しい話であるが、本当に手づくり感でやって、その中でさっき言ったような話で、道路を多少拡張できるようにするとか。何年計画でこういうような吾妻山にそういう聖地を作ろうという計画をもち、予算を充てて整備していけないことは進まない。都市整備課長としたらそういう考えでよろしいか。予算をもって、計画なら5カ年なら、5カ年という計画のもとでやっていくと。

都市整備課長

今の問題と過去の問題とごっちゃになってしまっている部分があるが、部長から説明があった観光の核づくり、過去の計画として存在しており、現行これが生きているかという生きている状態ではない。今後、部長も話したように、本腰を入れてそういうことも考えるべきであろうと事業計画を決定するのであれば、我々は取り組んでやることは可能かと思うが、現状の維持管理で安全にご利用いただくことを主において運営している状況である。そこが起爆剤というか転換期というかそういうところではないかと思う。

杉崎

委員会の勉強会でいろいろ議題を出しあったときに①樹木の伐採だが、正副委員長があなたがたに間違っただけを言ったように思えて。①-1、①-2と書

いていただいたが、私の剪定というのは高木で、吾妻山公園の上から海を見たとき、西を見てというか南西なのか、南東だとか、そこが見栄えが悪いということで、そこはなんとかならないかと議題に出した。こんな言い方としては、それは道路だけである。安全確保してあれば木が高くてもよい。われわれの議題としてずれてしまっているなどと思い、話を聞いていた。吾妻山公園から北の方は眺めについて高木の影響はそんなでない。いかがか。

都市整備課長

その話が出てくるのではないかと思った上で作らせていただいた。図面から説明をすると①-2 芝桜周辺だが樹木が繁茂しており高木があり、富士山を山頂から見る人が多いと思うが、芝桜園もこれを作ったのも第2のスポットがほしいと当時整備されている経緯がある。ここの坂を降りていく途中も高木を剪定することによって富士山を望む場所が一部期待できるところもある。通行の安全を含め一極集中でなく山全体を分散化したスポットも一つではないかということを含めての位置づけである。今言われた吾妻山の山頂の南西方向だが実は桜が植わっている。その手前に菜の花がある。桜に関しては毎年ではないが3年から5年に1回は背丈を押さえるように剪定している。それよりも山すそ側というのか、そちらは残念ながら公園の管理区域で無い場所があり、いわゆる民地であるので、民地分に関しては、われわれの方も勝手に切ることにはできない。あくまでも吾妻山公園の管理区域を剪定しているところもあるので図面にはおとさずにいる部分がある。吾妻山の山頂、吾妻神社の西側のあたりで、一部あづまやの方から相模湾が望める場所になるが、確かにおっしゃられるような高木があり相模湾がなかなか望めないということは承知している。公園区域から外れている部分もあるので、もし切るのであれば地権者との話し合いが必要かなと思っている。①-4 もそうだが役場口から登ると雑木林の中をただずっと歩いているようなだけ感じがあるので、このへんの背丈を低くすることで若干相模湾を見ながら登頂できるというスポットの一つということもありかなということで図面におとさせていただいたところもある。

杉崎

おっしゃることは分かる。不思議なのはこの公園を作って、しばらく眺めが良かったが、吾妻神社の駅の方を除く、今言われた相模湾反対の方が、ここ5、6年か、やけに伸びてきて眺めが悪くなった。その前はやっていたのかどうか私は分からないが、民地であっても雑木を伐採したのか分からないが。最近特に眺めが悪くなった。担当課で民地を切ったという記録は無いのか。やけにこのごろ眺めが悪い。坂を登って、結構下に行くとも高くなるのでお金はかかると思うが。お金次第だが、どうなのか。民地だからやる気無い、ほっておくのか、多少お願いしてでも。桜は伸びるのが早いのでやらないといけませんが、雑木も伸びるのが割りと早い、どうなのか。駅のほうがいいにしても、課長が言われた南西、国府津のマンションからちょっと南をふってもらったあのへんはなんとかならないか。

都市整備課長

私もここに携わっていた時期があるが、民地側の木を切っている記憶が無い。当時の地権者が手を入れているのかどうかまでは把握していないが、だいぶ高齢になって、体が動かないとか、それまでは何とか自分でやっていたところまでは見えてこない。昔は、皆さんここは薪山だから木を切って背負ってここを降りていったという話を良く聞かされている。そういうことで昔はよく相模湾が望めたとか、富士山が望めたという場所は数多くあった。公園として利用さ

れるようになってからもそうだし、時代が電気、水道、ガスという部分で薪が必要なくなったから木が切られなくなったということもあるかと思うが、今の現状で民地側の木を町が切るとか切らせてほしいとかこの場では発言を控えさせていただきたいと思う。

羽根

5年間で事業費を確保していけばということだったが、何か起爆剤になればということで、私達委員会なのか議会なのか、何か働きかけ、たとえば一般質問してもらえれば事業費がとれるとか。わたしたちがどういうことを動けば、実現するのかと。予算削減と言われている中で、出していくのが厳しいので、できることがあればやれたらと思う。町民の方々は吾妻山をシンボリックに思っている。町民の方でも毎日登る方もいらっしゃるぐらいなので、何か目に見えたサービスの向上というか、さきほど高齢者、障害者が登れるようになったとしたら目に見えてサービスが上がったのではないかと思えるところである。少しずつでもやっていけたらいいと思うが、私達サイドとして何かできることがあったらやれたらいいと思うが何か無いのか。5年計画を立てるとしたら、もうこの次の予算から立てていくことにするのか。どこからスタートするのか、そのあたりを教えていただきたい。

都市部長

継続調査の項目としてあがっているので最終的に聞いている話だと来年の9月に一定の方向を示してということなので提言書を出していただくのが最終だと思う。そうすると9月なので次になるが令和3年度に反映できるのではないかと思う。

議長

吾妻山公園の活性化ということだが、この元になるのは産業振興の発展としてスタートしている。産業振興の発展のためには二宮としては吾妻山公園の活性化をするということでテーマをしぼってきた経緯があるので、それをご承知おきいただきたい。確認を含めてだが、樹木の伐採だが、日陰として利用したいとか、伐採する予定があるとか1とか2とかおっしゃったが、伐採する予定かという質問か。伐採するののかという質問にする。②③歩道の拡幅、車両の乗り入れについて一般車両の話は先ほどのよいが、今現在緊急車両は、入れないような状況になっているのか、支障があるのか、というところを伺う。許可車両を増やせというような話に聞こえるが。許可があれば進入はできるという立場でいるのか。一つの例でいくと、ドラマの撮影だと、この間スタッフは車で上がっているはずだが、前回のスタッフは車で入れなかったとかいろいろ聞いているので、そのあたりの様子を聞きたい。先ほど今は無くなった計画案だが、今聞いても非常に楽しそうな計画案であったので非常にそういう動きをしたいとできたらいいなと思っている。先ほどの部長でこれがあるといつぐらいから動き出しやすいということが嬉しいが。たとえば来年度において、ベビーカー対応の歩道を整備するとか、緊急車両が通れないから拡幅するとか、伐採しないと屋根がつかえるとかそれは随時やっていただきたいが、それに対して予算がつきにくいとか、こうすれば予算がつきやすいとか何かあったら教えていただきたい。

都市整備課長

今質問が全部頭に入っていないが、足りないところがあったら後で補ってほしい。緊急車両だと中里口から山頂まではいけるが、テレビ局、消防救急車は若干違いがあるので、幅ぎりぎりでも余裕が無い状態なので安全に迅速に通行で

きるようにするには、狭小部分の拡幅は必要であると思っている。実際上がっているが、中里口から救急車の小型の車両で管理等前までいける状況である。全部が全部山頂ではなく、役場口から登った方が早い場合は、役場口に停めていただきたいとか、ある程度区域を定めて迅速に救急搬送できるような連携をとらせていただいている。樹木は実際計画があるわけではなく、あくまでも先ほどの議題に添ったかたちでこういうことが考えられるであろうというところで案として示させていただいた。病気で枯れているとか老木も含めて危険性のあるものについての伐採が優先ではないだろうかというところである。マスコミ、メディア関係は、ドラマだと撮影資機材はかなり多く、当然そういった車両は許可をするし、出演者・役者については、歩いて登られるとお客様が集中したり、写真撮影がだめだという規制があるので当然車で上がってもらう。許可をする、しないはあるが基本なるべく機材を持って登って上がれるのであれば徒歩でと、最近のカメラだとかなり小型化されているのでそれでも大丈夫だというマスコミ、メディア関係もあるので慣れている制作会社というか報道関係の方は歩いて登られる。たまたま持ってくる車両が大きすぎてとか、ホイールベースが長く改造されている車両についてはカーブが曲がれないので断念して徒歩でと状況に応じて車両の進入になっている。事前に登れる、登れないかをご自身の目で確認していただいて上で判断していただいている。

議長

伐採の件は、危険性あればその都度やるということである。管理区域外はどちらかというところとノータッチ、知りませんという答えにも聞こえるが、例えば、ここを切らせていただくとか。お金をいただくかは関係ないが、民有地であろうと理由付けをして切らせていただくということで話し合いとか、申し入れとか、行政としてはできないのか。許可車両関係だが、町としてはいろんなメディアにでて、素晴らしいところがあるなど、ただでPRしてくれるメディアに関しては多少優先的というのはおかしいが、していただければ嬉しいなという中で小型車両だったら入れますよとか、見てみて下さいというのもよいが、たとえば軽トラで来て下さいと言うのもよいが、この車で上げるとか、例えば町の軽トラを使って。宣伝広告費に比べたら非常に安いので、そういうことも活用できないかと私なんかは思うが、行政としてはできないものなのか。緊急車両が今でもなかなか通りにくいが、小型だったらなんとかいけると非常に危ない綱渡りをしていて、今回も緊急車両は小型化しており、二宮も新しいものを買ってきていると思う。ということは早急に拡幅しなければいけないというふうに思われているのではないかと裏では感じるが、それはいかがか。

都市整備課長

先に順番は逆になるが、緊急車両、いわゆる救急車だが、消防も入れる車、入れない車を承知しているので、さきほど実際言い切れなかった部分があるが、管理棟前までは行って対処している。一般的な救急対応は果たしていると思っている。マスコミだが、自分たちの持っている車両にかなり資機材を詰め込み型というのか、たとえばライブ中継をしたいとなると当然大型化しているので、いったんカメラだけ持って録画だけして車の置いてあるところにきてそこから飛ばすということをやっている。実際役場の車両を貸すということまでは実際要求されていない。報道関係、大型車両のメディア関係は慣れており、他の状況において車両でいけないところも経験しているように感じているので、我々が手を差し伸べるよりも、ご自身達で勝手に公園に行って撮って、自分達のタイムスケジュールで降りて行くのが早いとか、そんなふうに感

じている。われわれも二宮町吾妻山公園というのも無料でドラマにしてもいろいろなところでテロップを入れていただき協力してもらっているので、良好な関係であるという状況である。

都市部長 民有地の伐採だが、原則として公園区域が行政としてやるべきことであって、公園区域内の樹木の剪定をした上でプラスアルファが必要ならば、その次の段階で民有地もやっていくべきだと思っている。これは考えすぎかもしれないが、行政が手を差し伸べると、じゃあそこも借りてください、管理をお願いしますとかそういう話にもなりかねない、そういうことも懸念材料としてある。

議長 冒頭に言ったなぜ吾妻山にこだわるかということ、二宮町の産業振興の発展につながると思っているが、行政としてはそれをどう思っているのか、全くそのとおりに思っているのか、そんなのあるわけないと思うのか、私達が継続調査をしているが、先ほどから温度差がでるが、都市部としてはその点についてどのようなお考えをもっているのか最後に伺う。

都市部長 吾妻山は二宮町のシンボルでもある。観光の核でもある。二宮町として町外に誇れる場所だと思っている。吾妻山公園がきれいに整備されて、多くのお客さんが来るのであれば、町にとって非常に良いことだが、活性化につながるかどうかだが、行政としてはそういうものを整えて、人が来られるように進めていくので、多くの観光客をどうもてなすのかというプラスアルファの部分については、商工会や観光協会、外郭団体と連携しながら多くの人々が二宮のお土産とか思い出作りとか、そういうものを持って帰っていただけるように連携してやらないと、それは成立しないと思うので、町だけの思いではなく関係機関、団体と連携する必要性があった上で成功に導いていくのではないかと思う。

委員長 議長のすばらしい質問の後で1点質問よろしいか。今回委員会として3点質問させていただいた。とても良い話が出たのは、先ほどベビーカーの話が出たということで質問させていただく。ベビーカーをこれから乗れたらよいと思うが、現状の山の傾斜では、何か安全の問題で角度に対してどうかと、先ほど舗装して入れたいと思いを私も感じていたので。ベビーカーの角度とかいかがかと。SDGSの観点で、公園だったら今後は合理的配慮をやっていかなければ残っていけないのかと思うが、そういう場合に今は成功していないが、平塚市の海岸線をユニバーサルデザインにした公園を作るということだが、聞くところによると、そういう場合だと補助金が出るそうだが、何か特化した特長のある公園をどこか一つに、何か所か入り口があると思うが。そういった場合も研究していると思うが現状ではいかがか。

都市整備課長 先ほどベビーカーの話をさせていただいたのは、役場口からだと階段を登ることになる。当然手押し車等は無理で、いつもベビーカーを押して登りたいというお客様に関しては、遠回りになるが中里口をご利用くださいと、ただし、そこは未舗装路でなかなか押しづらい面もあるが、それでも行かれるかと、そこは確認をさせていただき、ご自身の判断に任せている。役場口がよいという方については、ベビーカーは入り口付近に置いて、赤ちゃん・お子様を抱っこやおんぶなどをしてというところもあるので、もし、押して登ることであれば、中里口は全体が舗装されていないので、そういうところを舗装するの

も一つの手かなというところの説明で、計画として舗装できるのではなかろうかというところである。傾斜については、バリアフリー法に準じているのは、吾妻山公園で言うと山頂の九十九折の部分、こちらが規定の勾配をもっているのはそこだけしかない。それから先ほどつながっているユニバーサルデザインの理由と、どうしても自然の公園で、山を公園化しているので、かなりバリアフリーとか、そういったところを特化するという公園の整備は、ハードルが高いとか、壁になってくると思うので、この公園全体をユニバーサル化するのは少し困難ではないかと考えている。特徴というのが先ほど言ったユニバーサルデザインというのは、勾配が一体的に移動円滑化という言葉で法律の中で使うが、障がい者の方が自分の力でスムーズに移動でき、段差が無く一定の勾配にしなければならないところがあるので、役場口からは階段なので、全然厳しい状況で、中里口からでも一部急勾配が強い、そうやってきた時に、考えられたのが山頂付近の九十九折のところをバリアフリーに基づく勾配性とさせていただいている。これはなぜかという、車で身障者の方が降りられてから展望付近まで行ける状況を作っている、ここは部分的に唯一確保できるのではないかと。なので、展望台の階段の反対側の北側の方にもスロープを増設しているので、車椅子でも移動はできる。本当のごく一部しか難しいのではないかと考えている。

委員長 今後は合理的配慮が必要になるかと思うが。やはりいろいろな提案とか、提案が現実になるか分からないが、提案があれば町としては合理的配慮に即した公園の作り方の考え方というのはできるものなのか。土地が全部町ではないから全部ができないとか。

都市整備課長 答えになるか分からないが、先ほど申したように既存の進入路が4か所ある。公園を利用するには4か所の進入路を利用するほかない。公園区域、借地している区域ももう決まっているので、たとえばユニバーサルデザイン化するにしても、まずはアクセスの問題から始まる。現道の中では山頂までのユニバーサルデザイン化された、いわゆるバリアフリー化された園路を確保するためには当然公園区域を出るかもしれないので、さらなる区域拡大なども考えられる要素の一つなのかなと。提案というか、そういうことを受けたにしろ、やはり土地の問題というのも一つ大きな要因かと考えられるので、その提案があるから、やりなさいというのは非常に難しい状況かなと思う。

善波 さきほど都市部長が一番キーポイントだと思うが、観光協会、商工会が一体化してやっていかないと、なかなか行政だけでは吾妻山をこうしようと言ってもなかなかうまくいかない。その辺をこの間山梨に行ったような先進事例もそうだが、あのへんが観光協会、商工会全てが一体化して、この町をどういうふうにしていこうかということになっていかないと。なかなか動きがとりづらいかもかもしれないが、そのへんをもう少し煮詰めて、観光協会もどういうふうを考えているのか、商工会のほうもどういうふうにして吾妻山の活性化がイコール商工会の繁栄につながっていくのかということを中心にして、いろいろなことをまとめていかないと、今ここで議論していてもなかなかまとまらないと思う。そこからへんを委員会でも、もう少しやっていかなければならないと思う。その考えのもとでいったほうが行政も動きやすいと思うがいかがか。

都市部長

おっしゃる通りで、行政だけでできること、他の団体と連携してやることと規模内容も違うので、同じ方向を向いて、連携できればと思っている。当然商工会でもブランド事業でオリーブに力を入れたり、メリハリをつけて進めていくこともやっている。観光協会も昨年4月から完全なる民営化を進めているところであるので自由で動けるところはあるにしても、同じ方向、向きをむきながら進めていけたらと思っているので日ごろの連携を強めながら今後の展開につなげていきたいと思っている。

委員長

本日3点にわたる質問、詳細が拡大し、執行者に礼を言う。委員会として煮詰めてまいりたいと思う。総務建設経済常任委員会の正式委員会を終了する。

閉会 14時39分